

コラム：「あめのゆみ」と「虹色とんちー」

橋本恭子（日本社会事業大学 中国語非常勤講師・「虹色とんちー」共同代表）



虹色同志

「あめのゆみ」と「虹色とんちー」のロゴマーク

清瀬市内にあるセクシュアル・マイノリティ関連の団体をご紹介します。

まずは、日本社会事業大学の多様な性を考えるコミュニティサークル「あめのゆみ」から始めましょう。「あめのゆみ」というのは不思議な名前ですが「性の多様性」を象徴する虹=rainbow を rain (雨) と bow (弓) に分けたとのこと。このグループに出会ったときに、センスのいいネーミングだと思いました。2012年にセクシュアル・マイノリティとアライアンス（支援者）の居場所づくりを目的として誕生し、社会事業大学周辺で活動しています。活動内容としては、毎週のミーティングの他、映画鑑賞会や、毎年4月末に行われる東京レインボープライドへの参加などが挙げられます。

また、私が現在、台湾のセクシュアル・マイノリティの文学と運動を研究テーマにしている関係で、2015年から春休みに、「あめのゆみ」の有志と共に台湾の関連団体や学生サークルを訪問する学習旅行を行うようになりました。台湾はセクシュアル・マイノリティの運動が非常に活発で、政治から教育、文化の領域に至るまで様々な試みがなされています。去年は学習旅行の後、清瀬市男女共同参画センター（アイレック）で一般公開の報告会をさせていただきました。今年も学習旅行や報告会を行う予定です。

もうひとつ「あめのゆみ」の卒業生が中心になって、昨年、新たに立ち上げた団体「虹色とんちー」をご紹介します。「虹色とんちー」の「とんちー」とは、中国語圏のセクシュアル・マイノリティとその支援者らを意味する「同志」（tóng zhì）の日本語読みです。もともと「理想を同じくする仲間」という意味の「同志」が、セクシュアル・マイノリティとその支援者を区別しない点に賛同し、こう名付けました。私もメンバーの一人ですが、現在、福生市や国分寺市など、多摩地域の公民館や男女共同参画センターなどを中心に、啓発的な講座を行っています。この活動を通して、地域の皆さまと共に「性の多様性」について考えながら、私たち自身が確実に変わっていく実感がありますが、こうした小さな変化の積み重ねが社会を大きく変えていくのかもしれませんが、ご興味のある方はぜひ「虹色とんちー」までご連絡ください。 nijihiro.tongzhi@gmail.com



台湾のLGBTグッズ販売店「愛之船」

*NPO 法人

LGBTの家族と友人をつなぐ会

<http://lgbt-family.or.jp/>

メール：tokyo@lgbt-family.or.jp

電話：090-9876-2423

LGBTの家族や友人などによる会。サポートや普及啓発、提言・調査を行っています。

*よりそいホットライン

一般社団法人社会的包摂サポートセンター

電話：0120-279-338

24時間どこからかけても無料の電話相談。セクシュアル・マイノリティの専門回線があり、相談員と一緒に解決方法を探してくれます。

*ハートをつなごう学校

<http://heartschool.jp/>

セクシュアリティに悩む若い人たちに向けて、当事者やLGBTフレンドリーな仲間たちが企画運営しているサイト。たくさんのLGBTの先輩や著名人からの動画メッセージが見られます。

*SHIP にじいろキャビン（横浜）

<http://www2.ship-web.com>

セクシュアル・マイノリティのためのコミュニティスペース。周囲の目を気にせず仲間たちが集まることができる施設。NPO法人SHIPが運営しています。

*東京レインボープライド

<http://tokyorainbowpride.com/>

セクシュアル・マイノリティが差別や偏見にさらされることなく、当たり前で生きていける社会の実現を目指しています。その表現のひとつとして、パレードやフェスタを毎年4～5月に行っています。

*法務省人権啓発ビデオギャラリー

<https://www.youtube.com/watch?v=G9DhgHaAxlo>

「あなたがあなたらしく生きるために 性的マイノリティと人権」(DVD) YouTubeで見ることができます。

*NPO 法人

共生社会をつくるセクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク(共生ネット)

<http://www.kyouseinet.org/>

原ミナ汰さん代表。政策提言・教材制作・同行支援・情報提供・支援ネットワーク構築・研修講座を実施。

*セクシュアル・マイノリティ電話法律相談 東京弁護士会

電話：03-3581-5515

毎月第2・4木曜日17:00～19:00。LGBTの法律問題に詳しい弁護士が相談に応じてくれます。

ここに紹介するのはごく一部です。社会の側がもっとセクシュアル・マイノリティの存在について理解しているというメッセージを出していくことが必要だと思えますが、まずは、自分たちが変わるのが第一歩です。さまざまな窓口があるので、アクセスしてみてください。

(安井)

悩んでいたら、まずはアクセスしてみてください